



「人財バンク シグナル」の トリアージで実現する ダイバーシティ草津



(地域課題) 地域における外国人住民と日本人住民との多文化共生の推進

(自治体名) 草津市

アイデアのポイント

市民と行政がそれぞれの強みを活かし、人財バンクサービスによる「トリアージ」を行いながら、草津市に住む市民たちが多様で複雑なニーズに対応していきます。

図1 人財バンクサービスのトリアージ

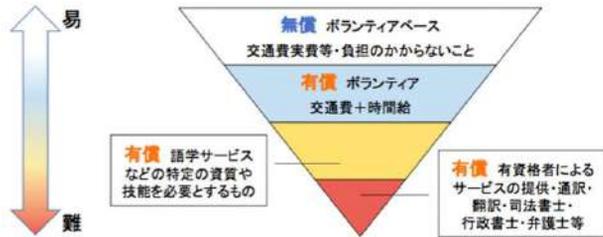
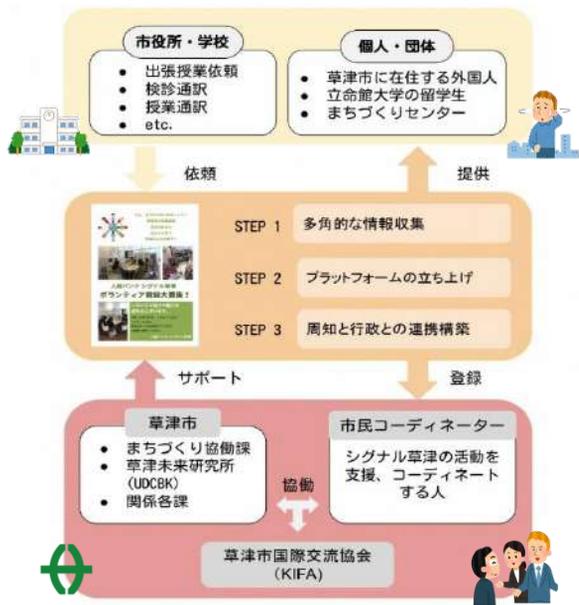


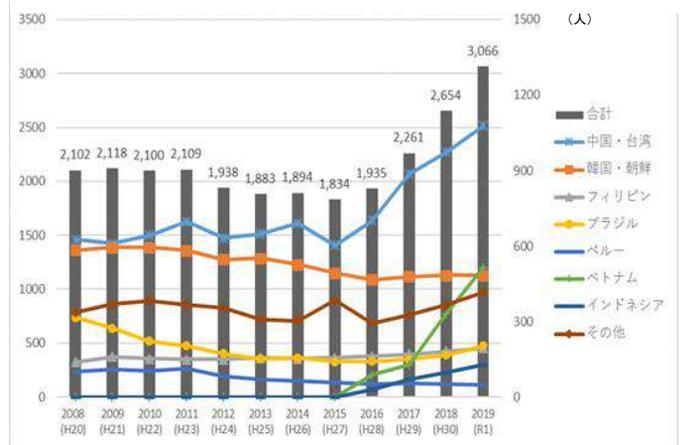
図2 人財バンクシグナル草津の推進イメージ



なぜこのアイデアか

草津市内に住む外国人が年々増加しているのに対して、多様で複雑化する外国人のすべてのニーズに十分に対応できていないため、草津市に住む地域住民・在住外国人等、さまざまな人財の助けを借りながら、広く顔の見える関係を作り、自分たちでできることから始めようとするもの。

図3 草津市の在留外国人の推移(H20～R1)



(出所: 草津市まちづくり協働課提供資料)

図4 草津市役所における通訳実績(H30～R2)



(出所: 草津市まちづくり協働課提供資料)

実現までの流れ

図5 アイデア実現までの流れ

2021年春頃に社会実験を行い、秋から仮運用をして、その後の本格導入につなげる。

